

2026年3月16日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号：4582)
問合せ先 IR室 (TEL. 03-5472-1125)

悪性リンパ腫に関する IV BCV の日本用途特許を取得 —がん領域への展開を加速—

シンバイオ製薬株式会社は、このたび、IV BCV（注射剤ブリンシドホビル）の悪性リンパ腫に関する用途特許について、日本国特許庁より特許登録を受けた旨の通知を受領しましたので、お知らせいたします。

本特許は、当社がシンガポール国立がんセンターとの共同研究を通じて得た成果に基づくものです。当社は希少疾患に対する取り組みの一環として、希少な病型を含む悪性リンパ腫を対象とした研究を進めてまいりました。本共同研究では、これまで主として造血幹細胞移植後のウイルス感染症治療に用いられてきた BCV が、NK/T 細胞リンパ腫や B 細胞リンパ腫などの悪性リンパ腫に対して抗腫瘍効果を示すことを科学的に実証しました。今回の特許登録により、当社は、IV BCV の血液がん領域における用途に関する日本国内での排他的権利を確保しました。なお、本件については2023年8月30日に PCT 出願を行っており、今後もグローバルベースで IV BCV の知的財産ポートフォリオの拡充を進めてまいります。

当社は、血液がんに加え、固形がん領域においても前臨床試験の結果に基づく特許取得を進めており、悪性リンパ腫を含むさまざまながん種を対象に、臨床開発の可能性を検討してまいります。

現在、造血幹細胞移植後のアデノウイルス感染症を対象とした第Ⅲ相臨床試験を進めているほか、進行性多巣性白質脳症（PML）を対象とした第Ⅱ相臨床試験を含む脳神経変性疾患領域でも開発を推進しています。今回の特許登録は、これらに加え、がん領域への展開を支える基盤の強化につながるものです。

さらにはがん領域において、シンガポール国立がんセンターに加え、カリフォルニア大学サンフランシスコ校の脳腫瘍センター、フランスのグスタフ・ルーシーがん研究所など海外の研究機関と連携し、研究を進めています。今後もこれらの取り組みを通じて知見を蓄積し、がん領域における研究開発を推進してまいります。

代表取締役社長兼 CEO 吉田文紀のコメントです。

「今回の用途特許登録は、当社が推進する移植後ウイルス感染症、脳神経変性疾患、がんの3本柱戦略を一段と深化させるものです。引き続き、研究開発と知的財産基盤の強化を着実に進めてまいります。」

本件による2026年12月期の連結業績への影響はありません。

以上

注記

本用途特許の概要

- ・ 特許番号：特許第 7827310 号
- ・ 特許権者：シンバイオ製薬株式会社
- ・ 有効期限：2043 年 8 月 30 日
- ・ 対象：悪性リンパ腫治療を目的とした BCV の用途

3本の治療領域を柱とした BCV の事業戦略

シンバイオ製薬は 2019 年 9 月、BCV のグローバルライセンスを取得して以来、3つの治療領域において、そのポテンシャルを掘り起こすことを目的として世界最高レベルの研究機関と共同研究を進めてきました。現在、対象疾患領域として、第1の柱である造血幹細胞移植後のウイルス感染症領域をはじめ、第2の柱として血液がん・固形がん領域、第3の柱として脳神経変性疾患領域の3治療領域を中心に経営資源を集中して開発を進め、グローバルに事業展開をすることにより BCV の事業価値の最大化を目指しています。